

ニューカッスル大学語学研修 参加報告書

外国語学部国際関係学科 2 年（参加当時）

2025 年 2 月 8 日から 3 月 9 日の 1 ヶ月間、オーストラリアのニューカッスル大学で語学研修に参加しました。渡航前は、初めて訪れる国で現地の方と 1 ヶ月間生活することに大きな不安を感じていました。しかし、日本に帰国した今、この経験が非常に有意義なものだったと実感しています。

私が参加した期間は、日本人の学生が特に多くクラスの約 8 割が日本人、残りはサウジアラビアの学生という編成でした。しかし、授業中は日本人同士でも英語を使用することがルールとされており、英語を使う環境はしっかり整っていました。

授業は、週ごとに「動物」「文化」「食」「建物」などのテーマが設定され、それに基づいたディスカッションやエッセイ作成を行う形式でした。グループワークやアクティビティが多く取り入れられていたため、実践的に英語を話す機会が多く、とても充実した学習環境だったと感じています。また、少人数クラスだったため先生に質問しやすく、密なコミュニケーションを取ることができました。

毎週木曜日の昼休みには「Pronunciation workshop」に参加しました。このプログラムでは 5 人ほどのグループに 1 人の先生が付き、発音やイントネーションを集中的に指導してもらえました。特に、習得が難しい R と L の発音の違いなども、クイズを交えながら教えていただいたので楽しく学ぶことができました。



私のホストファミリーは、オーストラリア人のホストマザーとホストファザーの 2 人でした。お二人ともとても優しく、私が理解できない部分はゆっくり話してくれたり、わかりやすい単語に言い換えてくれたりと、常に親切に接してくださいました。夕食の時間には、その日の出来事やお互いの国の文化について話す機会を作ってください、英語力の向上だけでなく、異文化についても深く学ぶことができました。また、放課後や週末にはビーチや動物園、マーケットなどさまざまな場所に連れて行ってもらい、オーストラリアならではの貴重な経験をすることができました。

語学研修が終わった現在も、ホストファミリーとは頻繁に連絡を取り合い、お互いの近況

や当時の思い出をメッセージでやり取りしています。こうした素敵な縁に恵まれたことに、心から感謝しています。



週末は自由に時間を使える日だったため、事前に計画を立て充実した時間を過ごせるよう心がけました。シドニーには2回訪れ、1回目は北九大の友達と、2回目はホストファミリーと一緒に去了きました。オペラハウスやハーバーブリッジを目の前にしたときは、その壮大な景色に圧倒され、「本当にオーストラリアにたんだ」と感動したことを覚えています。また、ニューカッスルも美しいビーチやおしゃれなカフェがたくさんあり、十分に楽しむことができました。



私がこの語学研修を通して学んだ最も大切なことは、「失敗を恐れずに挑戦することの大切さ」です。研修に参加する前の私は、何かやってみたいことがあっても、まだ起こっていない失敗やリスクを心配し、挑戦することをためらっていました。しかし、「そんな自分を変えたい」という思いでこの研修に参加し、一步を踏み出したことで、多くの貴重な経験を得ることができました。実際に挑戦してみたことで、自分の英語力の不足を痛感し、悔しい思いをすることもありました。それと同時に「どうすれば伝わるのか」「どのように表現すればより自然な英語になるのか」といったように次のステップに行くための新たな視点を得ることができました。また、失敗を繰り返す中で、英語を話すことへの抵抗が徐々になくなり、「間違えてもいいから伝えよう」という前向きな気持ちが生まれました。さらに、この研修では、挑戦しなければ得られなかった出会いや経験が数多くありました。ホストファミリーとの交流、現地の文化に触れる機会、シドニーやニューカッスルでの思い出の数々など、どれも私にとって忘れることのできない大切な経験です。こうした経験を通じて、「行動を起こすことでしか得られない学びがある」ということを実感しました。なので、これからもやってみたいと思ったことには前向きに挑戦してみようと思います。

今回の語学研修は、社会情勢や世界の文化に関心を持つ大きなきっかけとなりました。この1ヶ月間で学んだことを更に深く勉強し、これからの人生に活かしていきたいです。